

無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理または交換をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
- 2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
- 3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
- 4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ)火災、地震、水害、雷害、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷。
(ホ)一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ)本書の添付がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ)持込修理の対象商品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。
(リ)個人または事業者などから個人間売買やオークションや転売、その他類似する方法で取得された場合。
- 5.本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によつて、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト 自動調理ポット ラージ 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様 ご住所	〒	—	販売店 住所・店名			
お名前 電話	()	—	電話	()	—	—

ワイナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時~12時/13時~16時(土日祝日を除く)

住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

This product is for use in Japan only. Do not use outside Japan.

BA-RSY3-02-2601

This warranty is valid only in Japan.

JPN

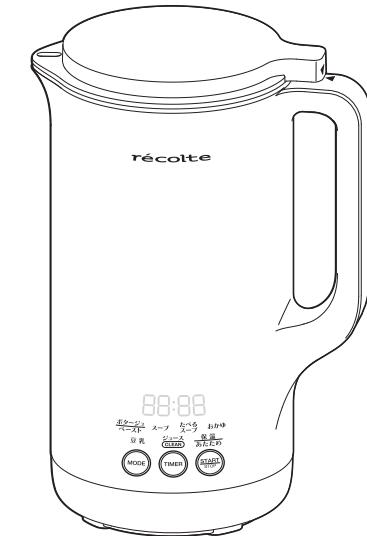
récolte®

Auto Cooking Pot Large

レコルト

自動調理ポット ラージ

RSY-3



取扱説明書

この度はレコルト 自動調理ポット ラージをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

This product is for use in Japan only. Do not use outside Japan.

INDEX

安全上のご注意	-----	1-4	使いかた	-----	9-12
初めてご使用になる際、			予約設定(タイマー)の使いかた	-----	13-14
またはしばらく使わなかったときに	-----	4	お手入れのしかた	-----	15-20
知つておいていただきたいこと	-----	5-6	故障かな?と思ったら	-----	21
各部(パーツ)の名称	-----	7	仕様	-----	22
操作部の説明	-----	8	無料修理規定／保証書	-----	裏表紙
ボタンの操作方法	-----	9	JPN		

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

この表示は、注意を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



■ 電源コード(電源プラグ、器具用プラグ)



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。
感電・けがの原因。



電源コードは破損したまま使用しない。傷つけない(無理に曲げる。引っ張る。ねじる。束ねる。高温部に近づける。重いものをのせる。挟み込む。加工するなど)。

電源コードが破損し、火災・感電の原因。

電源コードが破損した場合は、カスタマーセンターに相談してください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災・発火の原因。

電源プラグにピンなどの金属片やゴミを付着させない。

感電・ショート・火災・発火の原因。



電源プラグに蒸気を当てない。
感電・ショート・火災・発火の原因。



電源コードを本体に巻き付けたまま使用しない。

発煙・発火・火災の原因。



必ず行う

電源プラグは、定格交流100V、15Aのコンセントに直接差し込む。

火災・感電の原因。



電源プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



電源プラグ
を抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・発火の原因。



電源プラグ
を抜く

異常時(焦げ臭い、発煙など)は、すぐに電源プラグを抜き、使用しない。

火災・感電の原因。

■ 本体・パート



分解禁止

改造・分解・修理をしない。

火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターに相談してください。



禁止

本体を丸洗いしたり、水に浸したり、プラグ挿入口に水分を付着させない。

火災・感電・ショート・故障の原因。



使用中や使用直後は高温部に触れない。

やけどの原因。



使用中は蒸気口に顔や手を近づけない。

やけどの原因。



使用中は空気吹き出し口をふさがない。

火災・故障の原因。



カーテンなど可燃物の近くで使用しない。

火災の原因。



子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない、触れさせない、保管しない。

感電・けが・故障の原因。



禁止

空運転しない。

発火・故障の原因。



必ず行う

電子レンジやオーブン、食器乾燥機、食器洗い乾燥機に入れない。

変形・故障の原因。

倒す、落とす、ぶつけるなど、製品に強い衝撃を与えない。

故障・破損の原因。



必ず行う

変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。

火災・感電・けがの原因。

使用前・使用後は必ず各部品の点検を行う。

以下の場合は使用を止め、当社の点検・修理を必ず受ける。

- ・製品に不具合、損傷がある。
- ・製品を床に落とした。
- ・製品が焦げ臭い、発煙する。

⚠ 注意

■ 電源コード(電源プラグ、器具用プラグ)



動作していないことを確認してから電源プラグ・器具用プラグを抜き差しする。

必ず行う

感電・ショート・火災・発火・けがの原因。

■ 本体・パート



業務用として使用しない。

変形・故障の原因。



本体の上に物をのせない。蒸気口をふきんなどでふさがない。

やけどの原因。



使用中に子供やペットをそばに近づけない。

けが・転倒・故障の原因。



本体をゆすったり、フタを持って移動しない。

やけど・故障の原因。



刃には直接手を触れない。

けがの原因。



刃が曲がったり、破損した場合は使用しない。刃は研がない。

破損・故障の原因。



必ず行う 調理後、スープなどを注いだり持ち運ぶときはハンドルを持つて行う。



牛乳を豆乳に変えて使用するときは、豆乳2:水1の割合で水を入れる。

ふきこぼれの原因。



じゃがいもや里いもなど、でんぶん質を含む調理物を入れるときは、専用レシピブックに記載の容量を参考にする。

多量に入れるとふきこぼれの原因。



必ず水などの液体を入れて動作させる。

故障・発熱の原因。

必ず行う

各モードの調理可能容量内で動作させる。

感電・けが・やけど・故障の原因。
特に牛乳や豆乳などは泡立ちやすいため、少量で調理をするとふきこぼれの原因。

ポタージュ/ペースト・スープ・たべるスープ・おかゆ・豆乳モードは2回連続で使用しない。
連続使用する場合は本体が冷めるまで1時間程度休ませる。
故障・発熱の原因。

■ 設置・保管



不安定な場所、滑りやすい場所、濡れている場所、熱に弱い敷物の上では使用しない。

やけど・けが・転倒・破損・故障の原因。

必ず行う

屋外で使用しない。

故障の原因。



直射日光・雨が当たる場所に置かない。

漏電・故障の原因。



物を本体の上にのせたり、落下しやすい場所に置かない。

発熱・発火・感電・けがの原因。

必ず行う



壁や家具、熱に弱いものの近くで使わない。

染み、変色、変形の原因。

必ず行う



壁や周囲の家具、家電製品などから適切な距離を保ち、空気吹き出し口をふさがない。

熱による変形・変色・破損の原因。

初めてご使用になる際、またはしばらく使わなかったときに

- 本体内側・フタを台所用中性洗剤に含ませたスポンジなどで洗ってよくすすいだ後、しっかり乾かしてから使用してください。
- 工場出荷時に水を使った検査をして性能を確認しています。まれに、本体内部に白い跡(水道水に含まれるカルキ)が付着していることがあります、検査時の水の跡ですので、お手入れの上、安心してご使用ください。



使用中に本体が異常に熱くなったり、異臭がした場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。

発火・故障の原因。

必ず行う

使用後は放置せず、必ずお手入れをする。

錆び、故障、コーティング劣化の原因。

必ず行う

お手入れは本体及びパートが冷めてから行う。

やけどの原因。

必ず行う

ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない。

変形・破損の原因。

必ず行う

直火(ガス台など)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上にのせない。

火災・故障の原因。

必ず行う

壁や家具、熱に弱いもの近くで使わない。

染み、変色、変形の原因。

必ず行う

壁や周囲の家具、家電製品などから適切な距離を保ち、空気吹き出し口をふさがない。

熱による変形・変色・破損の原因。

必ず行う

知っておいていただきたいこと

本製品について

■「ミルミキサー」「ジューサー」ではありません。

かたい食材だけを単独で碎いたり、野菜や果物を水分を加えないで果汁成分だけ絞りだしてジュースにすることはできません。

■ポタージュ/ペースト・スープ・たべるスープ・おかゆ・豆乳モードは2回連続で使用しないでください。連続使用する場合は本体が冷めるまで1時間程度休ませてください。

できない調理

●肉類のミンチ、魚類のミンチ ●野菜のみじん切り、すりおろし、うす切り、せん切り

●非常にかたい食材の粉碎

調理できないもの

●市販のかたい氷

●小麦粉などの粉類だけの使用

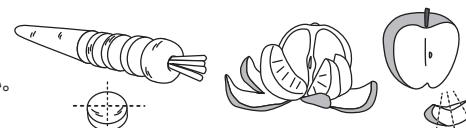
●かたい食材だけの使用(乾物など) ●食材でないもの

●粘り気の強いもの、水分の少ないもの(こんにゃくなど)

食材の下ごしらえ

食材は2~3cmを目安に切ってください。

※芯や種がある場合は取り除いてください。



食材を入れる順番

液体・やわらかいものから入れてください。

- ①液体
水、牛乳など
- ②やわらかいもの
バナナ、玉ねぎなど
- ③かたいもの
にんじんなど
- ④角氷
家庭用製氷機で
作った氷(2.5cm以下)

※調味料(砂糖、塩、こしょうなど)、しょうがやにんにく(すりおろし)、固形ルーなどは後に入れてください。

食材について

■牛乳を豆乳に置き換える場合は、豆乳2:水1で薄めてください。

牛乳150mlを豆乳に置き換える場合は、豆乳100mlと水50mlを入れてください。



■ジャガイモや里芋など、でんぶん質を含む食材を入れるときは、専用レシピブックに記載の容量を参考にしてください。

でんぶん質は泡立ちやすい為、多量に入れるときふきこぼれの原因になります。

■必ず水などの液体を入れて動作させてください。

故障・発熱の原因になります。

■氷を使用する場合は、家庭用製氷機で作った氷(2.5cm角以下)を15粒以下で使用してください。

■冷凍した食材は半解凍、または解凍して使用してください。

■各モードの調理可能容量内で使用してください。

食材が多くすぎたり、少なすぎるとふきこぼれや、うまく調理できない原因になります。

※特に牛乳や豆乳などは泡立ちやすい為、少量で調理をするとふきこぼれの原因になります。

モード	ポタージュ/ペースト			ジュース/CLEAN
	スープ	たべるスープ	おかゆ	
保温/あたため				
	400(MIN)~800ml(MAX HOT)			400(MIN)~1000ml(MAX COLD)
調理可能容量	MAX COLD			MAX COLD
	MAX HOT			MAX HOT
	600			600
	MIN			MIN
		最大容量 800ml		最大容量 1000ml
		最小容量 400ml		最小容量 400ml

お手入れ

使用後すぐに、水またはぬるま湯を入れてすすぐでください。
放置すると刃に残った調理物がこびりつき、故障の原因になります。

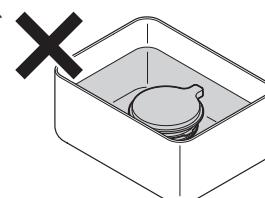
すぐにお手入れできない場合は、水を入れて置いてください。

※詳細はp.15~20をよく読んで下さい。



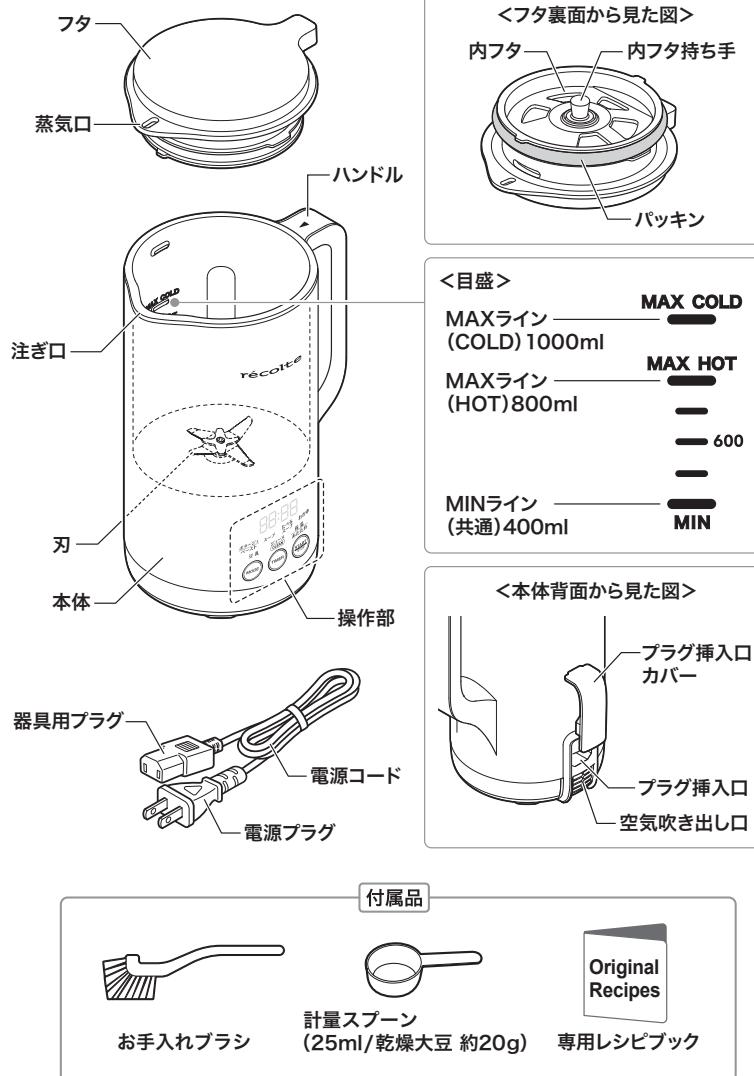
■本体はプラグ挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態で
IPX4相当の防水性能です。完全防水ではありませんので、
水に浸けたり、丸洗いなどはしないでください。

■フタの浸け置きはできません。



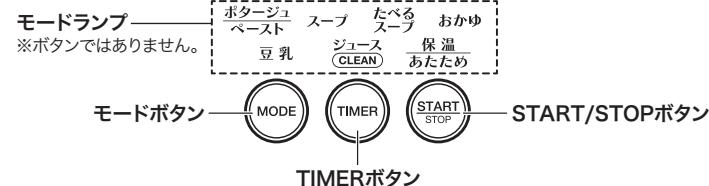
各部(パーツ)の名称

パーツ、付属品をご確認ください。



操作部の説明

時間表示
88:88



モードボタン	モードを設定します。 ボタンをタッチすることごとに ポタージュ/ベースト→スープ→たべるスープ→おかゆ→豆乳→ジュース/CLEAN→保温/あための順に切り替わります。
TIMERボタン	調理完了時間を設定します。※「豆乳」「おかゆ」モードで選択できます。
START/STOPボタン	ボタンをタッチすると動作を開始します。 動作中に短くタッチすると一時停止(約3分間)し、長くタッチすると動作を中止します。

モード	動作時間目安	調理可能容量	機能	メニュー例	予約設定(タイマー)※1
ポタージュ/ ベースト	約25~30分	400~800ml	なめらかなスープを作ります。 高温で煮込みながら、中速~高速攪拌し具材を細かく刻み、なめらかにします。	エビのピスク かぼちゃのポタージュ コーンスープなど	×
スープ	約30~40分	400~800ml	具材の形を少し残したスープを作ります。 高温で煮込みながら低温攪拌で具材を少し小さくします。	カレー クラムチャウダーなど	×
たべる スープ	約40~45分	400~800ml	具材の形を残したスープを作ります。 高温で煮込み、具材の形を残します。 焦げ付かないように少し低速攪拌します。※2	豚汁 ミネストローネなど	×
おかゆ	約35~45分	400~800ml	生米からおかゆなどを作ります。 高温で煮込みつつ、焦げ付かないように低速攪拌します。	おかゆなど	○
豆乳	約40~50分	400~800ml	濾さずで飲める豆乳を作ります。 高温で煮込みながら低速~高速攪拌します。	豆乳など	○
ジュース/ CLEAN	約3分半	400~1000ml	冷たいスムージーなどを作ります。 加熱せず、攪拌と停止を行います。 また、本体内側のお手入れ時に使用します。(p.15) ※冷却機能はありません。	スムージー ドレッシングなど	×
保温/ あため	約30分	400~800ml	保温や追加加熱するときに使用します。 約80°Cまで温め、30分間キープ。 焦げ付かないように低速攪拌します。	-	×

※1: タイマーを使用するときは、傷みやすい食材などは入れないでください。

※2: 「たべるスープ」モードは高温で調理するため、牛乳や豆乳などの焦げ付きやすい食材を入れるときは、必ず同量の水を入れてください。

【例】牛乳または豆乳100mlを使用する場合は、水100mlを入れてください。

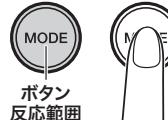
また、固形ルー、缶詰やパウチのペーストタイプのソースなどを入れるときは水を多めに入れてください。

ボタンの操作方法

ボタンの中心を目安に指の腹などで軽くタッチしてください。

以下のようなときは反応しないことがあります。

- ・指がしっかりボタンに触れていない。・指以外のもので押している。
- ・指が乾燥している。・ボタンが濡れている、汚れている。
- (指を少し湿らせてください)。・指サックやテープなどをしている。



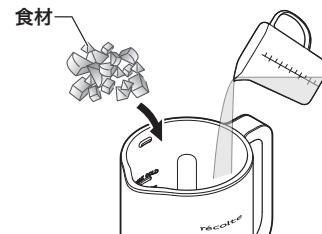
使いかた

1 フタを回して開け、食材を入れる

食材の下ごしらえ、入れる順番や容量などは、p.5~6を参照してください。

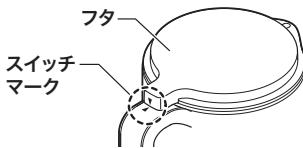
⚠ 注意

- 空焚きしない。
発火・故障・コーティング劣化の原因。
- 調理可能容量内で使用する。
感電・けが・やけど・故障の原因。



2 フタをし、スイッチマークを合わせる

※スイッチマークがずれないと動作しません。



⚠ 注意

- 食材を入れた状態で
本体を傾けない。
食材が漏れ出て故障・
感電の原因。

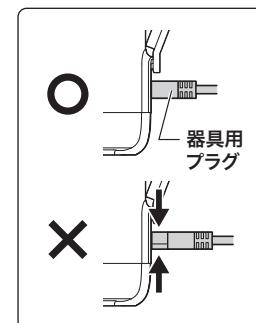
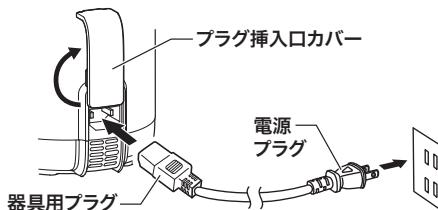


3 プラグ挿入口カバーをはずし、電源コードを接続する

器具用プラグを本体のプラグ挿入口にしっかりと接続し、

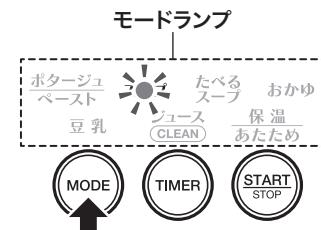
電源プラグをコンセントに差し込みます。

全てのランプが点灯し、待機状態になります。



4 モードボタンをタッチし、モードを選択する

選択したモードランプが点滅します。



5 START/STOPボタンをタッチする

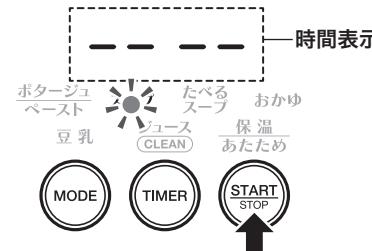
設定したモードランプが点灯し、動作を開始します。

動作を一時停止／再開する場合 START/STOPボタンを短くタッチする

一時停止すると、設定中のモードランプと時間表示に「———」と表示されます。

※約2分後にブザー音が鳴り、更に約1分間放置すると一時停止がキャンセルになり、待機状態になります。

※通常電時にフタを開けるとOPENと表示されます。



⚠ 注意

- フタを開けるときは、START/STOP
ボタンを押して一時停止する。
故障・やけどの原因。

食材の入れ忘れや追加などでフタを開けるときは、必ず刃が回転していないことを確認してから、
フタを取り外してください。

動作をキャンセルする場合

START/STOPボタンを長くタッチする

空焚き防止機能(E1)

水を入れない、または極端に水の量が少ない状態で動作をさせると、異常過熱防止のために自動的に動作を停止し、E1と表示されます。

必ず液体を入れ、MINライン以上で使用してください。

E1と表示された場合は、本体が十分に冷めてから使用してください。

時間表示部について

設定温度到達後、残りの時間がカウントダウンで表示されます。

<基本の時間表示>

① <初期加熱・攪拌中>

時間表示部に「—」→「—」→「—」→「—」と表示されます。



※各モードごとにプログラムされた設定温度まで加熱・攪拌します。

② <設定温度到達後>

調理完了までの残り時間がカウントダウンで表示されます。



※設定温度到達後に表示される時間はモードによって異なります。
※調理完了時間は食材や液体の温度、種類、量、環境温度などによって異なります。

<ジュース/CLEANモード>

動作開始後すぐに、残り時間がカウントダウンで表示されます。



<保温/あたためモード>

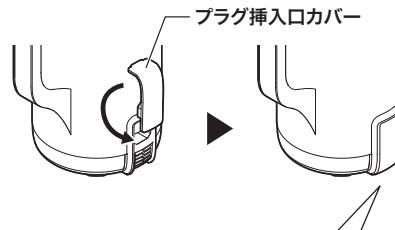
動作開始後すぐに、30分までの動作時間がカウントアップで表示されます。



6 調理後、電源コードを抜き、プラグ挿入口カバーをしっかり閉じる

完了後ブザー音が鳴り、調理終了をお知らせします。

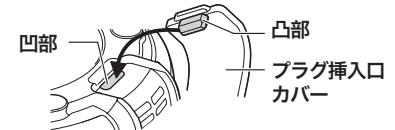
フタを開けておいてください。



⚠ 注意

- フタを開けるときは蒸気に十分に注意する。
やけどの原因。
- 注いだり、持ち運ぶときはハンドルを持つ。
やけどの原因。

<本体裏から見た図>



プラグ挿入口カバーの凸部と、本体の凹部を
しっかりと合わせて取り付けてください。

7 p.15~17に沿って、すぐにお手入れする

使用後すぐに、水またはぬるま湯を入れてすいでください。
放置すると刃に残った調理物がこびりつき、故障の原因になります。

すぐにお手入れできない場合は、水を入れて置いておいてください。



予約設定(タイマー)の使いかた

調理が完了する時間を設定します。

「おかゆ」「豆乳」モードのみで選択できます。

食材や液体の温度、種類、量、環境温度などによって異なります。

タイマーを使用するときは、傷みやすい食材などは入れないでください

1 p.9 1～3 の手順後に TIMERボタンをタッチする

おかゆモードが点滅します。

※キャンセルしたいときはフタを取り外してください。



2 モードボタンをタッチし、モードを選択する

「おかゆ」「豆乳」モードのみ選択できます。



3 TIMERボタンを再度タッチし、調理完了時間を設定する

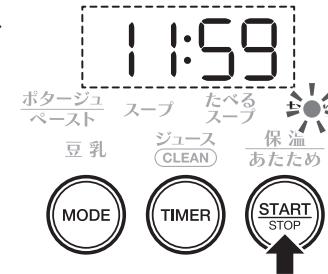
1～12時間まで10分刻みで設定できます。

※調理完了時間は目安です。



4 START/STOPボタンをタッチし、予約を開始する

調理が完了するまでの時間をカウントダウンで表示します。



食材の入れ忘れや追加などでフタを開けるときは、必ず刃が回転していないことを確認してから、フタを取り外してください。

フタをすると自動で予約を再開します。

※フタを外した状態で約2分経過するとブザー音が鳴り、更に約1分間放置すると一時停止がキャンセルになり、待機状態になります。

予約をキャンセルする場合 START/STOPボタンを短くタッチする

⚠ 注意

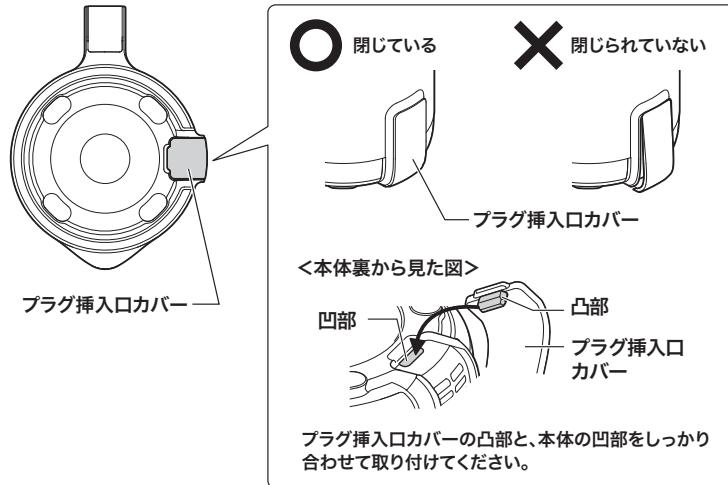
- 動作中にフタを開けるときは、START/STOPボタンを押して一時停止する。故障、やけどの原因。
- 注いだり、持ち運ぶときはハンドルを持つ。やけどの原因。

5 p.12 6～7 の手順と同様にする

お手入れのしかた

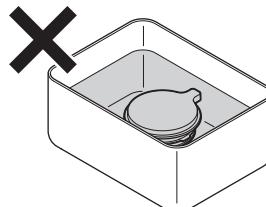
お手入れは、必ず電源コードを抜き、プラグ挿入口カバーをしっかりと閉じて行ってください。
本体は**プラグ挿入口カバーをしっかり取り付けた状態で**IPX4相当の防水性能です。
完全防水ではありませんので、水に浸けたり、丸洗いなどはしないでください。

<本体底面から見た図>



△ 注意

- 金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使用しない。
変形・変色・表面に傷がついたり、故障の原因。
- アルコール・化学洗剤などは使用しない。
変形・変色・表面に傷がついたり、故障の原因。
- 本体を丸洗いしたり、水に浸したり、プラグ挿入口に水分を付着させない。
火災・感電・ショート・故障の原因。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しない。
変形・変色・故障の原因。
- フタを浸け置きしない。
故障の原因。
- 刃に直接手を触れない。
けがの原因。



基本の洗いかた(CLEANモード)

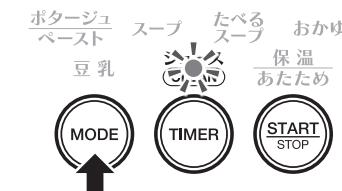
- ① MINラインまで水またはぬるま湯を入れ、台所用中性洗剤1~2滴を入れてフタをする



△ 注意

- 水や台所用中性洗剤を入れすぎない。
ふきこぼれの原因。

- ② モードボタンをタッチし、ジュース/CLEANモードを選択する



- ③ START/STOPボタンをタッチする

動作を一時停止／再開する場合 START/STOPボタンを短くタッチする

フタを開けるときは、必ず刃が回転していないことを確認してから、フタを取り外してください。
※約2分後にブザー音が鳴り、更に約1分間放置すると一時停止がキャンセルになり、待機状態になります。

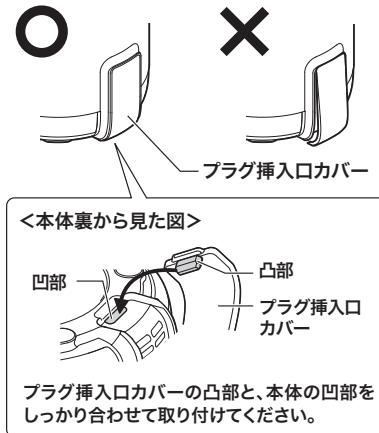
動作をキャンセルする場合

START/STOPボタンを長くタッチする

- ④ 完了後、電源コードを抜き、
プラグ挿入口カバーを閉じる
ブザー音が鳴り、終了をお知らせします。

⚠ 注意

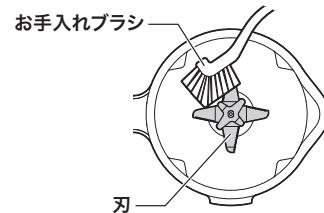
- プラグ挿入口カバーを浮きが無いよう
にしっかりと閉じる。
故障の原因。



- ⑤ 本体の水またはぬるま湯を捨てる

- ⑥ お手入れブラシなどで本体内側や刃、
刃の裏側の汚れを落とす

※刃の裏側に食材がこびりつくと故障の原因
になります。



- ⑦ 水でよくすすぎ、十分に乾燥させる

カルキなどの汚れの場合

- ① MAXライン(HOT)まで約50°Cのお湯を入れ、クエン酸大さじ1.5杯を入れ、よく混ぜ
溶かし、15分程度浸ける



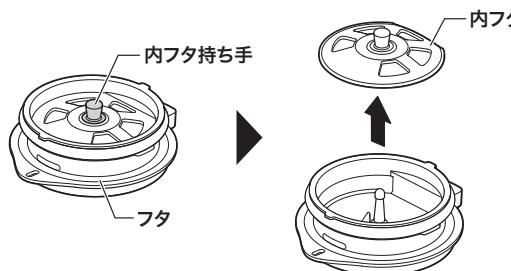
- ② 浸け置き後、お手入れブラシなどで汚れを落とし、水でよくすすぎ、十分に乾かす



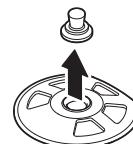
■水洗いできるもの

- フタ(フタ本体・パッキン・内フタ・内フタ持ち手)

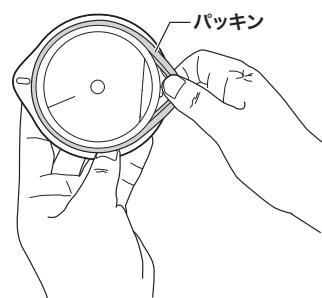
① 内フタ持ち手をつまみ、フタから内フタを取り外す



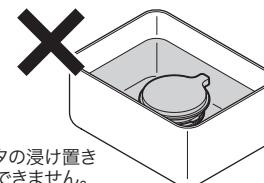
② 内フタ持ち手をずらしながら内フタから取り外す



③ フタからパッキンを軽く引張りながら外す

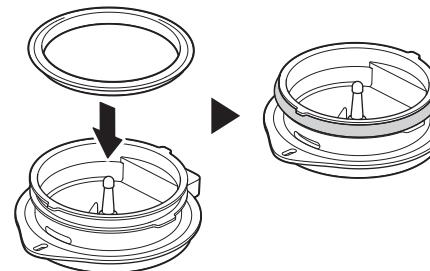


④ 台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗い、
よくすすいだ後、乾いた布などで水気を取る

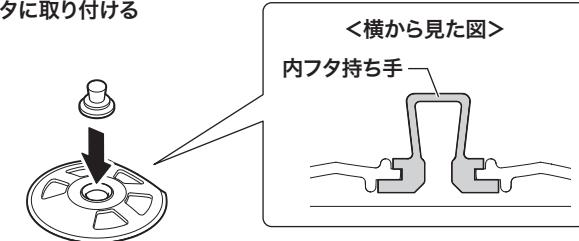


※フタの浸け置き
はできません。

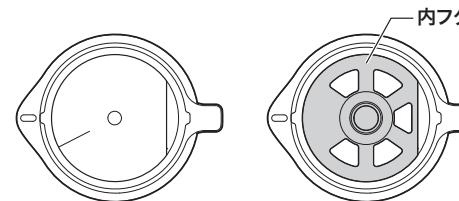
⑤ 十分に乾かした後、パッキンを取り付ける



⑥ 内フタ持ち手を内フタに取り付ける



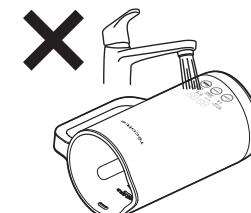
⑦ 内フタをフタの形に合わせて、フタにしっかり取り付ける



■水洗いできないもの

- 本体外側

やわらかい布などに水を含ませ、かたくしほってから
汚れを拭き取り、乾いた布などで水気を取ってください。



故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。

問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

症状	主な原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込んでください (p.9)
	器具用プラグがプラグ挿入口に差し込まれていない	器具用プラグをプラグ挿入口にしっかりと差し込んでください(p.9)
ボタンが反応しない	指が乾燥しているなど、反応にくくなっている	ボタンの操作方法を確認してください(p.9)
OPENと表示されている	フタが取り付けられていない	フタを取り付けてください(p.9)
	フタの▼と本体の▲のスイッチマークがずれている	フタと本体のスイッチマークを合わせてください(p.9)
動作が止まる	水分量が少なすぎる	水分量を増やしてください(p.6)
	本体に熱い食材を入れている	食材が冷めてから調理してください
	本体がまだ熱いうちに連続で使用している	本体が十分に冷めてから使用してください
	調理できない食材、かたい食材、大きな食材を入れている	調理できない食材、かたい食材、大きな食材を入れないでください(p.5)
	食材を入れすぎている	調理可能容量内で使用してください(p.8)
	刃の裏に残った調理物がこびりついている	お手入れブラシなどで刃のお手入れをしてください
	フタの▼と本体の▲のスイッチマークがずれている	フタと本体のスイッチマークを合わせてください(p.9)
	内フタが取り付けられていない	内フタを取り付けてください(p.19)
	フタにパッキンが取り付けられていない	パッキンをフタに取り付けてください(p.19)
	調理可能容量を超えた食材が入っている	調理可能容量内で使用してください(p.6)
ふきこぼれる	40°C以上の湯が入っている	40°C未満に冷ましたぬるま湯を使用してください
	食材に対して牛乳や豆乳が少なすぎる	牛乳や豆乳の量を増やしてください 牛乳を豆乳に変えて使用するときは、豆乳2:水1の割合で水を入れてください(p.5)
粉碎が粗い	刃の裏に残った調理物がこびりついている	刃の裏をしっかりとお手入れしてください
	食材が大きすぎる	食材を小さく切ってください(p.5)
大きな粉碎音がする	かたい食材を入れている	かたい食材を粉碎するときは粉碎音が出ますが、異常ではありません
焦げ付くようになった	調理できない食材を使用している	調理できない食材を取り除いてください(p.5)
	コーティング表面に汚れが残っている	本体内側のお手入れをしてください(p.15~17)
E1と表示される	空焚き防止機能が働いている	必ず液体を入れ、MINライン以上で使用してください
E2と表示される	2回連続で使用している	連続使用する場合は本体が冷めるまで1時間程度休ませてください
E4と表示される	冷凍された材料や氷を多量に入れている	半解凍、または解凍して使用してください。 氷を入れる場合は家庭用製氷機で作った氷(2.5cm角以下)を15粒以下にしてください
E5と表示される	過負荷がかかっている	調理できない食材、かたい食材、大きな食材を入れないでください(p.5)
E3、E6、E7と表示される	内部異常	カスタマーセンターにご相談ください

仕様

品名	自動調理ポット ラージ
品番	RSY-3
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	600W(ポタージュ/ペースト、スープ、たべるスープ、おかゆ、豆乳、保温/あたためモード) 130W(ジュース/CLEANモード)
定格時間	ポタージュ/ペースト、スープ、たべるスープ、おかゆ、豆乳、保温/あたためモード使用時:50分 ジュース/CLEANモード使用時:3分30秒
定格容量	1,000ml(ジュース/CLEANモード) 800ml(ポタージュ/ペースト、スープ、たべるスープ、おかゆ、豆乳、保温/あたためモード)
商品サイズ	約13.5(W)×18.2(D)×26.3(H)cm
重量	約1.3kg
コード長	約1m
主な材質	本体、フタ、お手入れブラシ、計量スプーン:ポリプロピレン、本体内側:セラミックコーティング
付属品	お手入れブラシ、計量スプーン、専用レシピブック
生産国	中国

※ 仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター **TEL.03-6662-7100**

受付時間 10時～12時／13時～16時(土日祝日を除く)

〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

カスタマーセンター
<https://recolte-jp.com/support/>



部品・消耗品のご購入

レコルト公式オンラインショップ・カスタマーセンター、または製品をお買い上げいただきました販売店にお問い合わせください。



カスタマーセンター
<https://recolte-jp.com/support/>